

全附連19-027
令和元年7月1日

国立大学附属学校
 校園長 副校園長
 P T A会長 教育後援会会長 各位

全国国立大学附属学校P T A連合会
 会 長 神余 智夫
 全国大会実行委員長 平岡 昌純
 副実行委員長 谷田部 秀男

全国国立大学附属学校P T A連合会（全附P連） P T A研修会 第10回全国大会 二次案内

開催スローガン

子どもたちとこの国の未来のために
～ 今、附属がめざす「共生」～

向夏の候、貴校園におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、全附P連の活動に格別のご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。

さて、昨年9月28日、29日に開催した第9回全国大会には文部科学省や財務省をはじめとする来賓の方々や講師の先生方などを含め約1,000名にご参会いただきました。現在は本年10月に開催します第10回全国大会に向け、全附P連が一丸となって企画・準備を進めております。

つきましては、第10回全国大会の概要を下記のとおりご案内いたしますので、貴校園の今年度の活動計画に盛り込んでいただきたくお願い申し上げます。子どもたちとこの国の未来のために、今こそ、国立大学附属学校には地域に根差した教育活動が求められています。参加者が共に学び、情報を交換するとともに、保護者としてなすべきことを再確認し、附属学校の新たな可能性についても考察いたしたく、より実りあるプログラムを計画しているところです。P T A役員、教育後援会役員、教職員の皆様方の多数のご来場を心よりお待ち申し上げます。

◎副校園長先生におかれましては、当案内を2部コピーのうえ、貴校園に原本1部を保管いただき、P T A会長様と教育後援会会長様あてにそれぞれ1部を速やかにお渡しください。
何かとお手数をおかけしますが、ご協力の程よろしく願いいたします。

記

1. 主 催 全国国立大学附属学校P T A連合会（全附P連）
 協 力 全国国立大学附属学校連盟 日本教育大学協会
 全国国立大学附属学校教育後援会連絡協議会
2. 開催目的 (1)日本の公教育を国立大学および附属学校と共に支える全国規模のP T A組織として、その社会的な責任と役割を対外的に強く表明する。

- (2)日本の将来を背負って立つ子どもの健やかな成長のために、附属学校のあり方を構築していく。
- (3)全国の附属学校関係者が一堂に会して、直面する全国共通の問題を認識し、解決への道を協議するとともに、さまざまな事例や取り組みを共有する。

3. 開催日時 **令和元年10月4日(金)～10月5日(土)**

4. 開催場所 ハイアットリージェンシー東京 地下1階
〒160-0023 東京都新宿区西新宿2-7-2 TEL 03-3348-1234

5. 参加対象者 全国国立大学附属学校の保護者および教職員・教育後援会関係者

6. 参加費

学校登録料(幼稚園、特別支援学校を除く全校種)・・・25,000円/校
個人登録料(特別支援学校・学級)・・・・・・・・・・1,000円/人
 (幼・小・中・高・中等・義務教育学校)・・・3,000円/人
情報交換会参加費(10月4日夕方)・・・・・・・・・・8,000円/人
オプションプログラム参加費(弁当・飲料代)
 10月4日午前 教育後援会基本セミナー・・・・・・・・1,000円/人
 あいさポーター研修・・・・・・・・・・1,000円/人
 10月5日午後 幼稚園ランチミーティング・・・・・・・・1,000円/人
 特別支援ランチミーティング・・・1,000円/人

- *学校登録料は、連盟登録における学校単位で徴収します。
(単位PTAあたりではありません。精算が必要な場合は、各学校内部でお願いします。)
不参加校からは徴収しません。
- *幼稚園および特別支援学校は、学校登録料を徴収しません。
特別支援学級のみが参加の場合も、学校登録料は徴収しません。
- *宿泊、交通手段等の手配・斡旋は、全附連事務局では行いません。
- *参加費用のお振込みは、同封の払込取扱票にてお願いします。

7. 参加申込方法 今回も昨年と同様、全附連HPからのお申込みになります。
登録・払込方法等の詳細は、11～12頁をご参照ください。
※お問い合わせは pta_kensyukai@yahoo.co.jp までお願いします。

8. 申込締切 **令和元年7月23日(火)**

- *各学校園から一人でも多くの皆様にご参加いただきたく存じます。
- *参加者概数把握のため、上記締切までのご登録をお願いします。
- *会場の都合上、収容できない人数の登録があった場合は、人数制限をさせていただきます場合がございます。あらかじめご了承ください。
- *教育後援会会長会には、会長でなくても出席いただけます。教育後援会の役員、その他、現役PTA役員の方のご登録も承ります。
- *全附P連(主催者)側にて、会場(ハイアットリージェンシー東京)内の保険は出席者全員にかけておりますが、参加者の自宅から会場までは、保険の対象外となります。

9. 払込期限 令和元年9月13日(金)

*会場(ハイアットリージェンシー東京)準備の都合上、払込期限を過ぎてのキャンセル・返金には応じかねますので、ご理解の程お願いいたします。

*返金が生じた場合、各校園への送金は9月17日以降に対応させていただきます。

第1日目 <10月4日(金)>

9:30	10:30	I		11:30	12:00															
受付	臨時総会 60分		昼食	オプションプログラム 教育後援会基本セミナー あいサポーター研修 90分																
	12:00	開会(13:00)		II	13:55	14:20	III	15:50	16:20	IV	18:00	18:30	V	20:30						
受付	開会式典 55分		休憩	附属セミナー 基調講演 90分		休憩	特別分科会 テーマ別分科会 1~5 100分		休憩	情報交換会 120分										
	<パネル展示> 絵画・作文コンクール入賞作品・特支記念品展示																			

タイムスケジュールは変更になる場合があります。

*午前10:30より臨時総会が開催されますので、各校園より代表の方1名ご参加ください。
なお、欠席される場合は、委任状のご提出をお願い致します。

*午前10:30~12:00に、希望者を対象にしたプログラム I. 1 教育後援会基本セミナー 2
あいサポーター研修を開催します。参加を希望される方は、全附属ホームページの登録フォーム
からお申し込みください。

参加者には、登録時に個人登録料のほか、弁当・飲料代として1,000円/人を申し受けます。
(当日になっての参加も可能ですが、弁当を用意できません。)

また、お席や資料の用意ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

*午後のプログラムからご参加の皆様は、昼食をおとりになってからご来場ください。

< 受付(教育後援会基本セミナー参加希望者)

(総会・あいサポーター研修参加者) > 9:30~10:30

I. 1 教育後援会基本セミナー(10:30~12:00)

教育後援会は、役員に就任したばかりで基礎的な情報がないと、会の運営や寄付の扱い方に戸惑うことも多くあると思います。このセミナーでは教育後援会やPTAの希望者を対象に、教育後援会の役割や運営に関する基本的な知識、情報等をわかりやすく解説します。昨年発足した、全国国立大学附属学校教育後援会連絡協議会と連携して実施します。

2 あいサポーター研修(10:30~12:00)

「あいサポート運動」は、平成21年11月に鳥取県で創設された運動で、誰もが暮らしやすい地域共生社会を皆で一緒につくっていく運動です。「あいサポーター研修」を受けることによって、

誰でも「あいさポーターになり、運動を拡げることができるようになります。共生社会の実現に向けて、まず正しく知ることから始めましょう。

< 受付（一般） > 12：00～12：50

*プログラム開始後も、随時受付いたしますが、なるべく 12：30 までにご参集ください。

*開会式典開始の 5 分前までにはご着席ください。

*スーツケース等のお手荷物は、会場のクローク（地下 1 階など）にお預けいただけます。

II. 開会式典 (13：00～13：55)

- ・開会行事

III. 附属セミナー・基調講演 (14：20～15：50)

- ・基調講演

演題：「Keeping Alive The Dreams 夢追いかけて」

講師：河合純一氏（パラリンピック競泳 金メダリスト）



講師プロフィール

1975年4月19日静岡県生まれ。日本スポーツ振興センター勤務、日本パラリンピアンズ協会会長、日本身体障がい者水泳連盟会長など。先天性ブドウ膜欠損症のため、生まれつき左目の視力はなく、15歳で右目も失明し、全盲となる。5歳から水泳をはじめ、パラリンピックには1992年、17歳でバルセロナ・パラリンピックに初出場。

以来、2012年ロンドン大会まで6大会に出場し、金メダル5つを含む全21個のメダルを獲得(日本人選手では最多)。2016年には日本人初となる国際パラリンピック委員会の殿堂入りも果たす。

筑波大学附属盲学校高等部から早稲田大学教育学部に進み、競技と並行し、全盲として初となる中学校教員を務めたり、早稲田大学大学院で教育学の修士号を取得したりなど精力的に活動。

現在は(独)日本スポーツ振興センターナショナルトレーニングセンター副センター長を務めている。

IV. テーマ別分科会 (16:20~18:00)

校種を超えた6つのテーマに分かれた分科会を開催します。
各分科会では、講演や内容説明の他、参加者同士のディスカッションも予定しています。
*個人毎に、テーマをお選びになりご登録ください。

a) <特別分科会>

各教育関係団体とのシンポジウム (オープン参加)

全附P連以外の教育関係団体の方々と学校現場におけるスマホ利用の在り方について、
様々な角度から意見交換を行います。
参加者は各学校園PTA会長(代理人可)に限定いたします。

b) <分科会1> 防災でつなぐ地域連携・大学連携

講師 永田宏和先生 (特定非営利活動法人 プラス・アーツ代表)
和田朋久氏 (大阪教育大学附属平野五校園連合会会長)

プラス・アーツは「教育」「まちづくり」「防災」「福祉」「環境」「国際協力」といった社会の既存の分野に対して、アートの発想やアーティストの持つ既成概念にとらわれない創造力を導入し、それらの分野がそれぞれ抱えている様々な課題や問題を解消し、再活性化させること目的に活動。大阪教育大学附属平野五校園連合会での「イザ!カエルキャラバン! in 附属平野」など活動事例を踏まえて、地域連携・大学連携を考えます。

c) <分科会2> ネットいじめの予防と情報モラル・リテラシー

講師 青山 郁子雄先生 (都留文科大学 国際教育学科教授)

平成25(2013)年以降、中高生などにスマートフォンが一気に普及し、利用の長時間化、犯罪の認知件数の増加、そしてネットいじめの深刻化といった問題が顕著なものとなっています。メディアリテラシーとネットトラブルに関して事例をもとに保護者が注意すべき点について皆で考えます。

d) <分科会3> 幼稚園部会

有識者会議を受けて、附属幼稚園がどうなるのか不安を感じているPTAの方もいると思います。本部会では、附属幼稚園の現状の課題を共有したいと思います。
また、「預かり保育」、「幼保連携」などの事例を紹介し、これからの附属幼稚園やPTAが、どのような活動が望まれるのかを考えていきます。

e) <分科会4> 特別支援部会

特別支援学校・学級ならではの課題を共有し、解決への糸口を探します。
就労支援、放課後等デイサービス、PTA役員選出等、具体的な課題や事例を交えながら、皆で考えていきます。

f) <分科会5> 教育後援会会長会

全国国立大学附属学校教育後援会連絡協議会の方々に進行をしていただき、教育後援会が抱える悩みや課題をグループで討議します。連絡協議会からも情報を提供していただき、今後の連絡協議会の課題などを考えていきます。

*テーマの選定と参加登録にあたって (お願い)

- ◎各学校園から一人でも多くの皆様にご参加いただきたく存じます。そして、<特別分科会>、<分科会1>、<分科会2>、それぞれの分科会に、偏りのないようバランス良く参加・登録のうえ、皆様が情報交換していただければ幸いです。なお特別分科会は、1名のみの参加・登録でお願いいたします。
- ◎分科会3は、幼稚園からの参加者が主な対象となりますが、その他の学校園の方も、参加登録いただけます。
- ◎分科会4は、特別支援学校・学級からの参加者が主な対象となりますが、その他の学校園の方も、参加登録いただけます。
- ◎分科会5は、教育後援会会長・役員の方が主な対象となりますが、いずれ役員になられるであろう現役PTA役員の方等どなたでも参加登録いただけます。
- ◎会場の都合上、収容できない人数の登録があった分科会は、人数制限をさせていただく場合もございます。あらかじめご了承ください。

V. 情報交換会 (18:30~20:30)

今年も情報交換会(交流会)を着席にて開催します。<参加費:全校種とも8,000円/人> 附属他校園の方々と食事をしながら情報交換していただきます。

全国の附属学校園のPTA役員・先生方と楽しく情報交換できる貴重な機会です。

この交流会で、ぜひ有益な情報を得て、貴校園に持ち帰っていただければ幸いです。

第2日目 <10月5日(土)>

8:30	9:00	10:30	10:50	12:45	13:00	14:30
受付	本講演1 90分	休憩	クロージングセミナー 本講演2 教育シンポジウム 115分	閉会	オプションプログラム 幼稚園、 特別支援 希望者対象 ランチミーティング 90分	13:30 展示終了
<p><パネル展示> 絵画・作文コンクール入賞作品・特支記念品展示</p>						

タイムスケジュールは変更になる場合があります。

< 受付 > 8:30~9:00

プログラム開始後も、随時受付いたしますが、なるべく9:00までにご参集ください。

*スーツケース等のお手荷物は、会場のクローク(地下1階など)にお預けいただけます。

VI. 本講演1 (9:00~10:30)

演題: 「グローバル人材を育てる」

講師: 宮崎 緑 (みやざき みどり) 千葉商科大学 教授 / 国際教養学部長



講師プロフィール

慶應義塾大学大学院修士課程修了。法学修士。東京工業大学非常勤講師を経て千葉商科大学教授。政策情報学部長を2期つとめた後、2015年に新設した国際教養学部の学部長に就任。

屋久杉と大島紬の保護に取り組み、奄美パーク園長、田中一村記念美術館館長を兼務。政府税制調査会委員、衆議院選挙区画定審議会委員、医道審議会委員など国の政策決定過程に参画。天皇の公務の負担軽減等に関する有識者会議構成員。中教審委員および神奈川県教育委員等教育行政に取り組んだことが評価され、平成22年度地方教育行政功労者表彰を受賞。現在は東京都教育委員。昭和シェル石油監査役、ソニー教育財団理事等、産官学および地域文化全般にバランスを保つよう努力している。

NHK報道局「ニュースセンター9時」初の女性ニュースキャスターをつとめた。

平成31年「元号に関する懇談会」の有識者委員の一人に選ばれ、新元号「令和」の選出に関与する。

横浜国立大学教育学部附属鎌倉中学校卒。

VII. クロージングセミナー・閉会行事 (10:50~12:45)

・本講演2

演題：「教育に科学的根拠を」

講師：中室牧子 慶應義塾大学総合政策学部 教授



講師プロフィール

慶應義塾大学環境情報学部卒業後、日本銀行、世界銀行、東北大学を経て現職。
コロンビア大学公共政策大学院にてMPA、コロンビア大学で教育経済学のPh.D.取得。
専門は経済学の理論や手法を用いて教育を分析する「教育経済学」
産業構造審議会委員、行政改革推進会議歳出改革ワーキンググループ有識者委員、革新的事業活動評価委員会(規制のサンドボックス)委員を兼任
著書はビジネス書大賞2016準大賞を受賞し発行部数30万部を突破した『『学力』の経済学』(ディスカヴァー・トゥエンティワン)、週刊ダイヤモンド2017年ベスト経済学書第1位の『原因と結果』の経済学』(共著、ダイヤモンド社)など。

・教育シンポジウム

教育シンポジウムを開催します。

学校連盟、PTA連合会、文部科学省の代表の方(予定)にもご登壇いただき、ご講演いただいた内容や教育について意見交換を行い、さらに議論を深めてまいります。

・閉会行事

VIII. オプションプログラム (13:00~14:30)

- *参加を希望される方は、登録フォームから a 幼稚園または b 特別支援を選択してください。
- *登録時に弁当・飲料代として 1,000 円/人を申し受けます。
- *当日になっての参加も可能ですが、弁当の用意ができません。
また、お席や資料の用意ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

a) 幼稚園ランチミーティング (希望者対象)

本大会の分科会や情報交換会を通じ、地域を超えた幼稚園保護者のつながりができたと思います。そこで、さらに多くの時間を各地の幼稚園PTA同士で共有し、情報交流を深めることを目的に、ランチミーティングを開催します。

全国規模で集える機会はなかなかないので、少しでも多くの方々に、気軽にご参加いただければと思います。

b) 特別支援ランチミーティング (希望者対象)

特別支援分科会は、出席者の子どもの学年が幼稚園から高等部まで幅広く、また都道府県や学校園によって子どもたちを取り巻く環境も様々です。

そんな中で本分科会は、様々な悩みや思いを抱える保護者・教職員どうしの貴重な交流の場となっていますが、毎年多くの方々から、専門家や研究者の意見をもっと聞きたい、もっと保護者・教職員どうしで意見交換をしたい、もっと時間が欲しいという声が上がっていました。

今年はそのご要望にお応えして、クロージングセミナー終了後にランチミーティングを開催いたします。お弁当もご用意いたしますので、奮ってご参加ください。

< パネル展示 >

絵画、作文・絵作文コンクール入賞作品 と 特別支援記念品の展示 (2日間)

2日間にわたり絵画、作文・絵作文コンクール入賞作品、特別支援学校・学級製作記念品を展示します。

全附P連主催の絵画、作文・絵作文コンクールの入賞作品、ならびに特別支援学校・学級製作の記念品の展示コーナーを開設。どちらも力作なので、その制作過程も見ただけのよう工夫します。

また、今回も省庁等のPRブースと新刊ムック本や特別支援学校・学級の子どもたちが製作したグッズ等の販売ブースの出展も計画中です。

< 会 場 > ハイアットリージェンシー東京 (地下1階 宴会場)

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 2-7-2 TEL 03-3348-1234



The map shows the location of Hyatt Regency Tokyo (highlighted in blue) in the West Shinjuku area. It is situated between the Grand Prince Plaza Hotel and the Grand Prince Hotel. The map also shows the location of the Shinjuku Station (highlighted in red) and the Shinjuku West Exit. The map includes labels for various buildings and landmarks, such as the Hilton Tokyo, Island Tower, and Shinjuku El Tower. The map also shows the location of the Shinjuku West Exit and the Shinjuku Station. The map includes labels for various buildings and landmarks, such as the Hilton Tokyo, Island Tower, and Shinjuku El Tower.

アクセス

- * JR新宿駅西口より
徒歩10分
(西口小田急ハルク前より
無料シャトルバス20分
毎運行)
- * 都営地下鉄大江戸線
都庁前駅A7出口徒歩1分
(C4連絡通路経由)
- * 地下鉄丸ノ内線西新宿
駅より徒歩4分
- * 羽田空港より直行リムジ
ンバス 約40~70分
(首都高速道路状況に
より変動)